



コ 明るい地域社会を目指して コミュニティ活動で表彰

県コミュニティづくり推進協議会主催の「平成28年度コミュニティ活動賞」で優秀賞を受賞した新野未来塾が2月3日、市役所を訪れ柳澤市長に受賞の喜びを報告しました。生き生きとした明るい地域社会の形成に向けて優れた活動をしていることが認められたもので、会長の杉本謙二さん(新野南)は「特別なことをしている意識はなかったのが驚いた。他の団体ともっと協力して活動していきたい」と話しました。



実 自分に合った働き方を知るために 習通じ社会性を高める

掛川特別支援学校御前崎分校の1～3年生31人が2月17日、市内7事業所で清掃や棚卸しなどの作業を体験しました。これは、働く生活習慣を積み上げながら職業観を深めるために、本年度から週に1回実施している実習で、この日、市役所では3人が窓や床の清掃に取り組みました。八木由里香さん(2年)は「1年を通していろいろな経験ができた。自分に合った仕事を見つけたい」と話しました。

男 女性が共に創る未来 フェスティバルで楽しく学ぶ

男女共同参画フェスティバルが2月18日、佐倉公民館で開催され、市民約80人が参加しました。講演会では県立大学の犬塚協太教授が男女共同参画社会をつくるための手段について話しました。その後の分科会では、男女共同参画をユーモアたっぷりに表現した手づくり劇や、話し合いの場を円滑に進めるためのノウハウを学ぶ会などが開かれ、参加者は男女共同参画について関心と理解を深めました。



夢 1年の総まとめを披露 あふれるまちづくりを

自分のまちをどんなまちにしたいかなどを話し合う「御中夢会議」が2月22日、御前崎中学校で開催され、3年の生徒29人が参加しました。社会科授業の一環で、生徒たちは1年を通じて「まちづくり」を学んできました。会議には柳澤市長と牧之原市の西原市長を招き、「海をきれいにするイベントを開催する」「最高の景色スポットいっぱいのもち」など、魅力を生かすアイデアを市長らに伝えました。